

宮臨技学術部 研修会報告書 平成 25 年度 作成者 橋本 幸男	
研修会名	血液部門研修会 「細胞形態の特徴をつかもう♥」
担当分野	血液部門
開催日時	平成 25 年 12 月 7 日（土曜日） 14 : 00～17 : 00
開催会場	仙台市立病院 10 階 大会議室
参加人数	会員 44 名（実務員 5 名含む）、非会員 7 名、 合計 51 名
研修内容	<p>【情報提供①】 「新規抗凝固薬使用の凝固検査データをどのように臨床へ伝えるか」 講師 千歳篠田病院 検査室 岸 宏 技師</p> <p>現行の抗凝固薬（ヘパリン・ワーファリン）の作用機序・問題点の報告と Xa 阻害剤・トロンビン阻害剤に代表される新規抗凝固薬（NOAC）の作用機序、生物学的利用率、出血リスクの評価について学習した。 特に Xa 阻害剤服用者においては従来の凝固検査の他に Xa 濃度測定が有効ではないかとの講演であった。</p> <p>【情報提供②】 「安くて簡単♥顕微鏡画像撮影レクチャー」 講師 仙台医療センター 臨床検査科 伊東 貴美 技師</p> <p>従来、顕微鏡写真撮影は撮影装置の購入が必要であったが、高画質の顕微鏡写真をデジカメまたはスマホで撮影するテクニックについて聴講した。 デジカメ（スマホ）と接眼レンズの光軸を合わせる事と手振れを押さえる事がポイントであった。スマホ撮影は悩んだ細胞出現時、気軽に相談できるツールとしても活用できる事が確認された。</p> <p>【教育講演】 「血液像の見方：判断に悩む細胞の鑑別ポイント」 講師 ベックマン・コールター株式会社 清水 宏伸 氏</p> <p>末梢血細胞観察前の「良い標本の作製の仕方（染色性）」の話から正常な白血球分類について、日臨技勧告法と日本検査血液学会分類試案を比較して詳細に説明があった。特に日常で悩ましく感じる「桿状核単球と桿状核好中球」「正常リンパ球と異型リンパ球」「異型リンパ球と異常なリンパ球」については双方の特徴的な所見を明解に提示して頂いた。また学習用のツールとしてベックマン・コールター「マンスリー形態マガジン」のアクセスの仕方についても提示があった。</p>
感想	3 月開催の血液形態研修会にて、正常・異型・異常なリンパの違いについて学習したいとの意見が圧倒的に多かったが、今回のアンケート結果から当研修会ではフォローが出来たのではないかと感じた。また新規抗凝固薬（NOAC）や顕微鏡写真の情報提供も今回受講した方々にはホットな話題であったと思われた。